

こやす・おおつぼいせき

子易・大坪遺跡

(伊勢原市No.123 遺跡)

調査期間

20100701～20110228

所在地

伊勢原市子易

時代

縄文
弥生
平安
中・近世



作成日:20110228

概要

本遺跡の調査は、神奈川県平塚土木事務所による県道611号(大山板戸)道路改良事業に伴い行っている発掘調査です。遺跡は小田急小田原線伊勢原駅の西北西約3.7kmに所在します。丹沢山塊の大山に水源をもつ鈴川の右岸に発達した河岸段丘(丘陵)上に存在し、標高は約100mあります。調査は2008年から断続的に行っており、今年は3年目にあたります。今年は7月からの調査で、中近世の溝や、縄文時代後期の住居跡(敷石住居跡)、配石などが検出されました。



▲ 中世の溝



▲ 縄文時代の配石



▲ 縄文時代の敷石住居